

## オーストラリアの Curtin 大学の学生が訪問しました(今村教授, 渡邊(D3))

場所：東北大学災害科学国際研究所会議セミナー室、震災遺構仙台市立荒浜小学校等  
 参加者：今村文彦教授, 渡邊勇 (D3)

2024年12月3日(火)に、オーストラリアの Curtin 大学の学生 34名と教員 3名が当研究室を訪問し、仙台市沿岸部のフィールドワークを実施しました。

午前中は、東北大学災害科学国際研究所セミナー室において、当研究室の今村文彦教授および渡邊勇 (D3) が東日本大震災の被害や教訓、震災伝承施設の役割と現状について話題提供を行いました。Curtin 大学の学生からは、古文書を用いた過去の津波の推定方法や学校教育での震災伝承の現状などについて質問がよせられました。午後には、一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 (代表理事：今村文彦) のご案内のもと、仙台市若林区荒浜地区の防潮堤、震災遺構仙台市立荒浜小学校、仙台市宮城野区の仙台塩釜港を見学しました。学生たちは、施設管理者や施設職員の方々から東日本大震災における被災状況、地域住民の避難と救出活動、復旧復興の取り組みなどを学んでいました。



今村文彦教授による話題提供



集合写真



荒浜地区での防潮堤の見学



震災遺構仙台市立荒浜小学校の見学



仙台港の見学



3.11 伝承ロードがラッピングされたバス  
 (文責：渡邊 (D3))